

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	国語
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・四季ごとに言葉を紹介し、その時々合った言葉を学ばせることができる。 ・教科書の初めに「風の五線譜」を学ぶことで、音読の基礎や読み方の工夫を身に付けることができる。 ・「古事記」、「源氏物語」、「土佐日記」、「方丈記」、「伊勢物語」等の古典の資料が豊富で、これらの教材を通して古典への興味・関心を促すとともに、授業の工夫ができる。 ・資料中心のページと文章中心のページがはっきりと分かれた構成で、メリハリがある。また、写真資料の多さや文法については文の成分などの色分けなど、視覚的な工夫がなされている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・単元名が「絆」「生命」「群像」「伝統」「世界」となっており、それぞれに合った教材で構成されている。 ・谷川俊太郎の「春」を年度初めに学ばせることで、季節を感じさせたり、音読や群読を行ったりと、様々な工夫につながる。また、すべて平仮名表記であり、初めて中学校の国語を学ぶ生徒が学びやすいように工夫されている。 ・小学校2学年で学んだ「スイミー」を取り上げることで、既存学習を振り返ることができる。 ・活動例が多く掲載されているほか、読む前、読んだ後に書き込み式の欄があり、教材への見通しと振り返りができる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・教材が領域別一覧に「つきたい力」として分類されている。 ・配色、記号、番号などにユニバーサルデザインが意識されているほか、視覚資料が多く、生徒の興味・関心をひく。 ・資料編も見やすく、教師・生徒共に活用できる。 ・教科書の初めの導入教材が、小・中学校の接続に配慮した構成である。向田邦子の「字のない葉書」を1学年の早期に扱っており、戦争題材として非常に理解しやすい教材である。また、「落語」という分野に1学年で触れることができ、授業の多様な取組の工夫ができる。 ・学校図書館や地域の図書館などの利用を促す資料が多い。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や「小窓」によって課題に気づき、その課題を次ページ「解説」でまとめるといった構成で、生徒に理解しやすくする工夫がある。 ・視覚資料が少なめである分、文章教材が多いが、配色、記号、番号、文字の大きさなどにユニバーサルデザインが意識されている。 ・項目やページの構成などのレイアウトがシンプルで、生徒が理解しやすいように工夫されている。 ・小・中学校の接続に配慮しているほか、「1年生で学習した漢字」をまとめた部分が非常に見やすく記載されており、学習のまとめとして活用できる。 ・「オツベルと象」、「敦盛の最期」は生徒に読ませたい作品である。

光 村 図 書	<ul style="list-style-type: none">・「単元を貫く言語活動」を構成するための活動例が多いほか、単元ごとに目標が記され、「今日は何を学ぶのだろうか」という学習意欲を高められる。・「話す・聞く・書く・読む」が、バランスよく配置されている。・教材には新しいものが増え、より現代の文章に近い。以前の教材は資料として記載され、身に付けさせたい力がより明確である。・新出漢字が単元や教材毎にまとめられ、生徒が学びやすいように工夫されている。他発行者に比べ、配色などが落ち着いているが、色彩は豊かであり、生徒の興味・関心をひく。・領域別にインデックス化されており、見やすくする工夫がある。
------------------	---

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	書 写
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨と赤墨で、筆の動きがわかりやすいように工夫されている。 ・ 始筆と終筆のつながりを意識できる。毛筆と硬筆を関連させているので、書くポイントが定着しやすいように工夫されている。 ・ 生活に生かせる題材が多く、日常と結びつけて指導することが可能である。 ・ 紙ができるまで等、文字を書く歴史や文字を書くことの背景に関する資料が豊富である。 ・ 古典の文章を書く学習もあるので、読むこととも関連している。また、書き込む欄が多く設けられ、ワークシートのように利用できる。 ・ 願書やのし袋等を用いた指導内容が豊富で、様々な分野で試したくなる工夫がある。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年を通して1冊となっている。 ・ 教科書を縦方向に見せる手本が多く、そのまま半紙の横に置いて手本として使える。 ・ 筆の運び方については、薄墨を使って穂先がどこを通るのかが見てわかるようになっていて書きやすいように工夫されている。 ・ 手本以外の資料は少ないが、書くことに集中できる。 ・ 篆刻や古書など、内容が多岐にわたり、「書道」や「文字」そのものへの興味を高める工夫がなされている。 ・ 文字に関するコラムがあり、興味・関心をひく。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆全体の動き、筆先の使い方や通り道がわかりやすく工夫されている。 ・ 「生活にいかそう」という題材も適度であり、興味・関心に結びつけやすいように工夫されている。 ・ 字自体の扱いも統一されたレイアウトの中、簡潔に表現されている。また、墨と赤墨を混ぜてあり、筆の動きがわかりやすいように工夫されている。 ・ 「考えよう・話し合おう・確かめ合おう」「気づきを生かして書こう」の項目があり、書写を書くだけでなく、生徒間の交流の中で書くことに対する意欲が高められるようになっている。 ・ 文字を書くことの背景や歴史に関する資料があり、書写の文化全体を学べる。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平仮名のもととなった漢字、崩した字について扱い、字のつなげ方、つながりを意識して書くよう工夫されている。 ・ 字形や空間の取り方について、わかりやすく表現されている。 ・ 字自体の書き方や構図についても扱い、書き方指導の面で、大変使用しやすいように工夫されている。 ・ 筆の運び方については、薄墨を使って穂先がどこを通るのかが見てわかるように工夫されている。 ・ 硬筆は練習スペースがあるので、ポイント学習後、すぐに実践できる。 ・ 補助教材が設けられており、様々な文章に触れ、様々な文字を練習でき、国語と書写の関連が図られている。

光
村
図
書

- 3 学年を通して 1 冊で構成されている。
- 問題形式で解き進める構成に重きを置いている。
- 生活に生かすような題材が多く採用され、日常と結びつけて指導しやすいように工夫されている。
- 用具の持ち方、書くときの姿勢という基本から丁寧に解説されている。
- 筆の運び方については、薄墨を使って穂先がどこを通るのが見てわかるようになっていて書きやすいように工夫されている。
- 「手紙の書き方」や「送り状の書き方」等、実生活に即した課題が多くあり、書写の学習を身近に感じられるように工夫されている。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	社会（地理的分野）
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や資料が必要なものをそろえてあり、文章も多めで生徒が自分で勉強することに使える。 ・各学習課題に対するまとめ方が、ただ振り返るだけではなく、思考力を必要とする問いになっている。 ・章のはじめに小学校の学習とのつながりを意識したページが配置されており、小・中学校の学習を連携させた授業展開を踏まえた内容となっている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料が多く、資料が見開き2ページになっていて、学習する内容がしっかり収まっている。 ・巻頭に載せられた小学校からのつながりを意識したページは、小・中学校の学習をうまく接続する助けとなるページである。 ・章末に配置された学習のまとめのページは、その章の知識の整理、表現の練習となり、知識の確認を章ごとに行うことができる。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや地図などの資料が豊富で詳しい。 ・「技能をみがく」のコーナーは、地理学習の基礎作り役立ち、生徒が理解しやすいように工夫されている。 ・教科書本文に則った資料が掲載されていて、資料と本文を関連付けやすいように工夫されている。 ・内容が精選されていて、自主学習などでも要点をとらえやすいと感じる。 ・授業展開の中で、授業の見通しや見届けをはっきりとすることができる。地図や図表を用いた基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる。
日文出版	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最後に学習のまとめがあり、生徒が自分で振り返って勉強するとき使いやすいよう工夫されている。 ・写真を通して、地理学習と人の生活が密接に関係しているということを感じ取ることができる。 ・教科書本文には、知識事項が細かい内容まで載せられており、全体的にボリュームが多い。 ・生徒が教科書に直接書き込めるようになっている部分がある。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	社会（歴史的分野）
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・図版や資料の量は多く1ページの半分以上を占めている。ルビも多く大きく表記してある。 ・一項目を一コマの授業で行うことを考えた時に、写真や図などの資料と本文の割合が丁度良く、特に基礎的・基本的な知識や技能を大切にする中学生には適している。 ・基礎・基本的な知識を定着させるために単元の扉に小学校時に既習した用語での年表を示し、単元の最後に中学校で新たに学んだ事項をプラスした年表があり系統性が図りやすいよう工夫されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・毎ページのタイトルの下に、棒グラフのようなものが伸びていて、そのページで学ぶ出来事が何世紀のことなのかが一目でわかり、毎回確認できる。 ・章末の「学習のまとめと表現」のコーナーを使えば話し合いによる協働学習が可能である。 ・「読み解こう」のコーナーではグラフや地図、資料の読みとりの活動を容易にしており、資料の大きさが適度で見やすいよう工夫されている。
清水書院	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページを1単位の時間で終わるように工夫してある。 ・章の扉に各時代を代表する写真や小学校で学んだ事柄に連動する写真が掲載されており、写真から時代の特色を展望できる工夫がある。 ・時代ごとの学習の最後に「キャッチコピー作成のためのYチャートづくり」のページが全部に貫かれており、学びの連続性が図れ、時代を大観するという学習指導要領の主旨を反映している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・図版や資料を多用し、図版は大きく解説も詳しい。1ページの半分以上を占めている。 ・1単位時間の学習が見開き1ページの中に統一感ある構成になっている。 ・「見開きタイトル」・「学習課題」と「確認しよう・説明しよう」は、内容的に連動するようにつくられており学習の流れが明確にわかる。 ・「技能をみがく」コーナーが設けられ、資料の具体的な見方から考え方、表現方法まで、歴史学習の基礎的・基本的な技能が習得できる。
日本文学出版	<ul style="list-style-type: none"> ・毎ページ提示してある「学習の課題と活用」の指示が具体的で、尚かつ『なぜ』から始まる発問が学習内容と密接していて有効的である。 ・「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で毎時間、言語活動を設定している。 ・「とらえよう！ 時代の転換」というタイトルでの章末ページでは協働学習ができる。 ・思考・判断・表現をさせる学習では、空欄への語句記入・選択方式・自由記述などと発達段階を考慮した解答方式になっている。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ数が非常に多く、特集のページを多く取り入れている。ゴシック体を使用して重要語句がわかりやすく、生徒の理解につなげている。 ・図版や資料が大きく、精選されていて、解説をととても詳細にしている。 ・教科書が単なる知識事項の確認とならないように、ストーリーが展開されるように配慮されている。

育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ・図版や資料の量は精選しており、その解説は平易である。 ・「歴史ビュー」という、歴史のこぼれ話や生徒が興味をもちそうなエピソードが盛り込まれており、そこに面白みを見出す工夫がある。 ・多様なコラムがあり、そのことの意味は多面的な見方、考え方につながる工夫がなされている。 ・歴史上の偉人の取り上げ方が献身性や勇気などの視点で扱われている。
学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物的な表現をすることで、生徒に親しみをもたせ、歴史に興味・関心を抱かせている。 ・見開き2ページを1単元の時間で終わるように工夫しており、単元名を一工夫して、生徒に興味をもたせ、主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・図版や資料は大きく精選されていて、解説も大変詳しく説明されている。 ・教科書サイズが他社と比べ、大きいサイズとなっている。 ・それぞれテーマ学習が中心となっており、そこから時代の特色を理解する形式になっている。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	社会（公民的分野）
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き1時間のページ構成が導入資料→学習の見通しを示す学習課題→確認の欄と分かりやすい配列で統一されている。 ・一単元を一コマの授業で行うことを考えた時に、写真や図などの資料と本文の割合が丁度よく、特に基礎的・基本的な知識や技能を大切とする中学生には適している。 ・章末にある「調査の達人」の欄は思考・判断・表現力の育成に使える。 ・巻末の用語解説が充実している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が学習活動や社会体験に取り組む場面も随所に紹介され、学習意欲の喚起や社会への参画意識の向上が図られるように構成されている。 ・「読んで深く考えよう」のページで、時事的なテーマや地域の事例から資料を読み深め、自らの考察力が高められるよう配慮されている。 ・「言葉で伝え合おう」のページが設けられ、身近な社会的事象をテーマに、議論や論述などの言語活動に取り組むことが容易である。
清水書院	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ヒコーキマークでの発展的知識の紹介や風船マークでの思考・判断・表現力を育む方法など1単位時間のまとめとしてふさわしい学習活動や学習内容が提供されている。 ・「深める公民」「もっと知りたい公民」のコーナーで憲法改正やTPPなど現在の課題がきちんと時事問題的に掲載されており、生徒の関心・意欲を高められる。 ・太文字で表記されている重要語句の補足説明など、ページ欄外の補足情報がきめ細かく、つくりが丁寧である。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の前に」のイラストや資料から学習内容を概観し、「学習をふりかえろう」で学習内容を復習できるようになっている。 ・「トライアル公民」や「Yes No」コーナーなどでさまざまな立場の人の意見が掲載され、これらを尊重することを促し、多面的・多角的な見方や考え方が養えるようになっている。 ・社会的事象のしくみや概念がわかるように因果関係をふまえたうえで、具体例を挙げており、理解しやすいよう工夫されている。
日文出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートやルール作りなど協働学習を促す「アクティビティ」のページがあり思考・判断・表現力を育む学習が容易である。 ・「連携コーナー」のページで小学校、地理・歴史との関連を図ることができ既習事項を確認して発展させる力を育むことができる。 ・イラストや図が大きく、見やすい工夫がされている。 ・コラムが多彩で、深く興味をもてる。

育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ・章の扉に「入り口」というページがあり思考・判断・表現力を育むことができる。 ・社会的事象を「自分事」ととらえさせる本文記述は、生徒にとっては理解しやすいよう工夫されている。 ・新聞記事の資料が豊富であり、NIEの方法で学ぶことができる。 ・具体的な事件などを多く掲載してある。 ・作業や話し合い活動をするテーマが分かりやすく、活用しやすいよう工夫されている。 ・資料が大きく、活用しやすい工夫がしてある。
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の技術の高さなど世界に誇る日本人を育てるというコンセプトが強く出ている。 ・資料が適度な大きさである。 ・学習課題の中で、学校生活におけるルールや学校の体育館の使用に関する事例をあげる等、身近な話題を取り上げ、生徒の興味・関心を高めている。 ・「ミニ知識」では、公民の重要な言葉や事柄を学習するヒントとなる記事が示されている。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告

教科名	地 図
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・海上のつながりがよくわかる記載である。 ・落ち着いた色使いがなされており、生徒も落ち着いた雰囲気資料を調べることができる。 ・テーマ資料が充実している。日本全体や世界全体という項目のページが多数用意されており、多種多様な分布図やデータの載った地図を扱うことができる。 ・地勢図のページ、主題図のページと分かかれ、整然と配置されている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・地形の名前（山脈や台地の名称）がはっきりと大きく、しかも文字を四角で囲って表示されているので、調べ学習をさせた際など、見つけやすくなっている。 ・地図の中には、地理的な分野の学習事項だけでなく、歴史分野や公民的分野に関連する知識事項も示されており、中学校3年間を通して使いやすいものになっている。 ・色使いがはっきりしており、区別がしやすくなっている。 ・世界各州、日本の地方の地勢図を中心に扱っている。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	数 学
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・数学に関する知識や歴史を掲載し、興味・関心をもたせる工夫や既習事項の確認を多くし、復習をしやすいよう工夫されている。 ・章毎の見出しを付け、ページを見つけやすくする工夫がある。 ・演繹的な流れが多く、自然な流れに沿って指導ができる工夫がある。 ・バスケットボールのシュートを連立方程式の導入に用いている。経験のあるスポーツを取り入れ、問題のイメージをしやすいよう工夫されている。 ・巻末の問題は、何ページを見ればその問題を解くことができるか一目でわかる。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、式のイメージを考えるきっかけを与える題材が多い。 ・導入部分が充実している。 ・数学と社会のリンクや数学のなぜ？では、カラーで多く取り扱い、興味をもたせる工夫がある。数学のレポートのまとめ方が示されているだけでなく、生徒が興味・関心をもちそうな「天秤の釣り合い」「気象予報」などの資料があり、自主的に数学について調べようとする事ができる。数学がどのように利用されているのかを知ることができる。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の量が必要最低限で、重要な部分がわかりやすく表記されている。 ・重要な内容やポイントが1つずつ丁寧にまとめられていて、苦手な生徒も内容を整理しやすい。また、問題の難易度も丁度よく設定されている。 ・冒頭の「数学的な考え方」の紹介がよい。 ・計算のポイント、躓きやすい箇所が明記されている。 ・疑問をもったときや躓いたときに、既習の内容に振り返られるように工夫されている。 ・考え方→知識→演習・ポイント、つまづき点の順の構成で、指導しやすいよう工夫されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが各問題に対して、重要なポイントを指摘している。 ・チャレンジコーナーでは、日々の生活の題材を発展課題としている。また、数学の広場も思考力を高める問題である。 ・学習のまとめのページがあり、その単元で学んだことの概要を復習できる。 ・基本内容のまとめや整理ができるので、基礎・基本や概念が身に付く。 ・「伝えよう」という問題があり、表現力を育成させる工夫がある。 ・公式は緑枠、重要な部分は黄色枠と色別ではっきりさせている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・1ページに例題・考え方・解答を載せ、理解しやすいよう工夫されている。 ・Math navi ブックがついているため、学び直しの機会を設定できると共に活用する姿勢を身に付けられる。 ・話し合う場面を設定する問題では、小グループ活動等につなげられる。 ・「伝えよう」、「話し合おう」とう問題があり、表現力を育成させる工夫がある。 ・「ふりかえり」の部分が強調され、既習事項と結びつける工夫がある。 ・説明やポイントは必要最低限で、自ら考えさせていく流れになっている。

<p>数 研 出 版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想する問題には「見つけよう」、多くの解き方があるものは「伝え合おう」等、その問題の取り扱い方が一目で分かる工夫がある。 ・巻末にチャレンジ編が用意されている。 ・数学の用語を忘れたときのために余白に説明があり、復習できる。 ・「見つけよう」という問題では規則を見い出す力を育成させる工夫がある。 ・冒頭の「クイックチャージ」はレディネスとしてよい復習になる。 ・計算のポイントがそれぞれ記されており、計算技能の指導がしやすいよう工夫されている。
<p>日 文 出 版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・項の動きを色別にし、全ての計算をすることで途中式の作り方がわかる。 ・図がわかりやすく、イメージしやすいよう工夫されている。 ・「話し合おう」という内容で言語活動を取り入れているだけでなく、他者の考えを自分なりにまとめることで、より数学の能力を身に付けることができる。 ・文章題の例題において、解き方の後に検算をさせる指示があるのがよい。 ・各章のレディネス問題は、その単元の導入につなげられる。 ・導入ページの色彩の豊かさや図形が大きめに描かれており、見やすさがある。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	理科
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「レッツトライ」では話合いなど、アクティブラーニングがしやすく示されている。 ・図や写真が豊富で、色や形がはっきりして見やすいよう工夫されている。 ・単元ごとの課題が明確で、授業で活用できる。 ・「調べよう」では応用分野が示され、思考力向上に生かせる。 ・「科学でGO」では日常のサイエンスが示され、話題が豊富で、関心をもたせるよう工夫されている。 ・各学年に巻末付録が有り、関心をもたせる工夫がある。 ・社会科と関連した部分にはマークがあり、知識を深めることができるものになっている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、観察の図解が明確で生徒が理解しやすいよう工夫されている。 ・発問に関する工夫がされていて、思考をうながすような記述がある。 ・「やってみよう」では応用力・思考力の向上に役立つ示し方をしている。 ・「くらしの中の理科」では体験を生かせるつくりになっており、意欲につながる。 ・「トピック」では最新のサイエンスが分かりやすく示されている。 ・発展した学習内容が多く掲載されている。 ・各分野ごとにページの色が変わっており、分野の変わりを認識しやすいよう工夫されている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学を仕事に活かす」の内容が理解しやすく、解説の視点がよい。 ・「実験、観察」の図解が丁寧で、作業をイメージしやすいよう工夫されている。 ・「実験、観察」で注意事項が明確で安全教育につながる。 ・単元の始めと終わりにそれぞれ確認問題があり、知識の定着につながる。 ・使用されている写真は、全国各地や県内地域のもが使われており、関心につながるよう工夫されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・「実験、操作」では(方法)→(結果)→(考察)とスムーズに取り組むことができる。 ・「話し合おう」では言語活動を中心とするアクティブラーニングにつながる。 ・「ハローサイエンス」では学んだ科学現象の例が記載され、発展応用の理解がしやすいよう工夫されている。 ・各学年に巻末付録で、関心をもたせることができる。 ・写真より図が多く使われており、文章量も学年が上がるにつれて増えている。 ・「思い出そう」では既習事項を定着しやすく示されている。

啓
林
館

- ・別冊付録の「マイノート」により基礎・基本の練習、定着を図りやすいよう工夫されている。
- ・「マイノート」により実験結果から思考、表現するアクティブラーニングにつながる。
- ・「サイエンス資料」では生活につながる内容が示されている。
- ・「なるほど」において間違いやすい分野を明確に示し、学習内容が正確に定着するよう工夫されている。
- ・「ためしてみよう」では応用的内容が示されており、思考力につながる。
- ・図や写真が多く使われており、生活体験が少ない生徒への配慮がある。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	音楽（一般）
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通事項が曲ごとに左に大きく載っていて整理されている。 ・ 学習指導要領の共通事項を窓口にした知覚感受の学習に取り組みやすい内容になっている。 ・ 我が国の伝統音楽に関する指導内容と資料が充実している。 ・ 鑑賞だけでなく、体験させ、表現につなげる指導内容が掲載されており、思考力・判断力・表現力を育成するのに適している。
教育芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞教材の楽曲説明が豊富で、理解を深めやすいよう工夫されている。 ・ 「リズムアンサンブル」に絵や具体例が多い。 ・ 我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽について充実している。 ・ 冒頭には「音楽学習 MAP」があり、歌唱・創作・鑑賞の3分野とそれぞれの関わりについて、意識して学習することができる。 ・ 日本の伝統音楽について音の高低を一本の線に表すなどの工夫がある。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	音楽（器楽）
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーのタンギングの仕組みを詳しく説明し、舌の動き方も絵で表現するなど理解しやすいよう工夫されている。 ・箏の曲で二重奏「もののけ姫」「さくらさくら」を取り上げ、親しみやすいよう工夫されている。 ・手作りの横笛「水族館で横笛を作ってみよう！」も興味を引く内容である。 ・リコーダーに関して、「ドだけで」「ド・レ・ミだけで」といったように「ドレミファソ」の五音を扱う前の段階を重視したページ配分になっている。
教育芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターのコードの説明と楽譜があり、授業でコード演奏に取り組みやすいよう工夫されている。 ・「ここがわかれば Grade Up」などアーティキュレーションということばが随所でみられ、音楽表現の工夫への積極的アプローチが行われている。 ・協働学習に力を入れており、生徒の主体性を高めたり、学び合いの中で思考力・判断力・表現力を高めたりするのに適している。 ・箏曲など基礎的な技能を習得するのに適した譜面が多い。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	美術
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術2・3」では、4ページの見開きで富士山が描かれており、生徒が描きたい富士山の多様な表現が掲載されている。 ・比較的文章や図法の説明が多く、また生徒作品も多く掲載されている。 ・各題材の4観点の目標をページの上を示し、わかりやすいよう工夫されている。 ・原寸大の画面があったりして画面構成に工夫している。 ・鑑賞・導入から制作し、鑑賞へ戻っていくサイクルとなっている。 ・発達段階などで系統的な配列を意識して「美術1」と「美術2・3」を分けている。
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの風神雷神は見応えがあり、日本の美術について力を入れ、その美しさがわかるよう工夫されている。 ・作家の特集なども生徒の興味を引く内容がまとめられている。 ・原寸にこだわるページがあり、引きつけられる。 ・巻末の、素材のページ、学習を支える資料（技法、道具の扱い方、表現方法など）のページが、充実している。活用できる内容となっている。 ・自画像のページが充実している。新しい切り口の自画像参考資料が多く、自画像制作に作風が新しく加えることができる。
日出版	<ul style="list-style-type: none"> ・4ページ見開きで迫力があり、視覚的、触覚的に美術の美しさを感じられるよう工夫されている。 ・原寸の浮世絵があることで鑑賞が充実し、さらに細部まで見ることができる。 ・三十三間堂の迫力があり、仏像と金箔の美しさがよくわかる。資料集的な内容も掲載されており、教科書だけでも十分制作や鑑賞に活用できる。中学3学年の最後のメッセージも生涯美術に関わる態度を育成することができる。 ・「美術2・3上」では和紙のページが浮世絵などの質感を引き出している。 ・見開きで鑑賞と技法の図解が入れてあり、指導しやすいよう工夫されている。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	保健体育
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、他の教科との関連を図りながら系統的に構成されている。 ・小单元ごとに「今日の学習」と表記されており、本時のねらいがはっきりとわかる。また、「やってみよう」「本文」「考えてみよう」「生かそう」と記されていて、1時間の流れがわかりやすく、見通しがもてる。 ・挿絵や写真、図など資料が多く、理解しやすいよう工夫されている。 ・章の最後に確認の問題があり、知識の定着の確認ができる。 ・体育編、保健編ともに学年ごとになっており、見やすいよう工夫されている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。 ・小单元ごとに「今日の学習課題」と表記され、本時のねらいがはっきりわかる。また「考えよう」が学習の始めに設定されており、身近な疑問からスタートし、興味をもって取り組むことができる。 ・挿絵や図、表など資料が大きく、わかりやすいよう工夫されている。 ・「章末資料」としてわかりやすい資料があり、学習内容を広げ、深めることができる。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。 ・「活用」と表記され、学習したことを生かし、考える課題が設定されており、思考力・判断力・表現力を育成できるよう工夫されている。 ・図や表に吹き出しがついており、資料から読み取ってほしいポイントが示され、理解しやすいよう工夫されている。
学研みらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された方針に基づき、目標・内容が取り上げられ、系統的に構成されている。 ・小单元ごとに「学習の目標」が記されており、本時のねらいがはっきりわかり、また「ウォームアップ」「本文」「エクササイズ」「活用しよう」と記され、1時間の流れがわかり、見通しがもてる。 ・写真や挿絵において、重要ポイントについて拡大された図や写真があり、学習内容を確認しやすいよう工夫されている。 ・章の最後に確認の問題があり、知識の定着の確認ができる。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	技術・家庭（技術分野）
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校時の学習や他教科の案内により、つながりが理解しやすいよう工夫されている。 ・ポイントとなる部分が明確にされている。 ・実習例や基礎技能などこまめに見出しがついているとともに、学習のまとめがあり、既習事項を振り返ることができる。 ・作業行程が見開き（2ページ）になっていて理解しやすいよう工夫されている。 ・写真や図、イラストなどを豊富に取り入れてあり、キャビネット図、等角図、正投影図の描き方では2ページにわたって並べて記載されている。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に技術に特化し、工具の使い方や、工具の種類、材料の特徴、運動の変換などについて、詳しく記されている。 ・生物育成の部分の内容が詳しい。 ・安全に作業するための注意事項がよく解説してある。 ・発展、考えよう、安心などの部分ではわかりやすいよう工夫されている。 ・まとめや章末問題があり、単元の最後に活用できる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス、授業の導入についても、生徒に考えさせるべき点や、学ぶべき基礎・基本、評価と活用の部分まで記述をし、わかりやすいよう工夫されている。 ・学習の具体的な目標や分野の項目ごとに学習することが明記されており、その時間の授業で生徒が何をすべきかが理解しやすいよう工夫されている。 ・作品例が豊富で参考にできるよう工夫されている。 ・写真などを豊富に使い、作業手順（行程）や道具の名称、機械の使い方などわかりやすいよう工夫されている。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	技術・家庭（家庭分野）
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年間のガイダンスが示され、活用しやすいよう工夫されている。 ・調理例が、中学生向きであり、また生活化しやすそうな内容となっている。 ・「やってみよう!」「考えてみよう」など、思考力・判断力の育成に役立つ構成になっている。 ・写真、図の大きさ・文字が大きく見やすくなっている。 ・章にまとまっていて、ページを開きやすい。調理実習の例や作品の例などが多くてよい。 ・多様な調理実践例をカラー写真つきで紹介してあるので、学校の実態、生徒の個性に応じて実習ができる。また、家庭での実践にも役立つ。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と家庭生活や消費生活と環境のところでは、ロールプレイングの内容がある。 ・住生活では、室内事故や生活の工夫等が理解できるよう工夫されている。 ・教科書に学習のふり返し等の問題が記載されていて、直接書き込みをすることができる。環境、伝統文化などの取り扱いが特徴的である。ワークの要素もあり、記入させながら、確認もできるページがある。 ・基礎から発展的な内容が系統的に掲載されている。 ・題材ごとに「クエスチョン」コーナーがあり、導入として興味をもたせる構成となっている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵も多く、イメージしにくい学習内容では、写真が実物大の大きさになっているのでより具体的に生徒に伝わる。 ・「A・B・C」の3段階の振り返りでチェックができる。 ・イラストや図示、写真を組み合わせて提示されているので、生徒にとってイメージがわき、自分の生活と比較しやすく、実践しやすいよう工夫されている。 ・資料が充実していて、学習内容が理解しやすいよう工夫されている。 ・環境を配慮した生活の資料が充実している。

平成28年度使用教科用図書（中学校）調査研究報告書

教科名	外国語
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得」「活用」「発信」の3部構成による繰り返し学習で、基礎の確実な定着を図っている。 ・生徒が自分の考えを英語で述べる活動が豊富である。 ・技能別の練習も充実しており、技能をバランスよく学習できる。 ・各単元終了時に、日常生活に即したコーナーが設けられ、学習した内容を活用できる場面が明確である。別のコーナーには、辞書の使い方、文章のまとめ方などが手順や例を用いてわかりやすく説明されており、主体的に学習に取り組めるような工夫が見られる。 ・題材には日本の伝統や文化に関することやオリンピック、東日本大震災など新しく身近な話題を取り入れ、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。
学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの単元が章となり、各学年4章で構成されている。各単元後には「復習」が設けられ、4技能の繰り返し学習で、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫が見られる。 ・各章の初めに言語材料や目標が記され、学習の見通しや振り返りができる。 ・1学年の教科書は小学校で慣れ親しんだ一般動詞（like）から導入されており、小学校の外国語活動との円滑な接続を意識した構成である。 ・会話形式で内容が進むため、実践的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。語彙も英文も量が豊富である。 ・点字を題材にした単元では、実際にアルファベットの点字に触れることができ、体験的な学習ができる工夫がある。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元が4つに分かれており、学びや指導の過程が見える。 ・「とびら」で見通しを立て、「GET」で基礎的な知識・技能を習得し、「USE」で基礎的な知識・技能を活用し、「文法のまとめ」で言語材料を振り返るという構成である。「語彙」「復習」では、単元を超えた既習の文法事項や単語を整理して学べ、語彙力や応用力を育成できる。 ・生徒用CAN-DOリストがあり、習熟度を自己評価できる。 ・文法に関する指導が細かく記載されており、活動を繰り返しながら基礎・基本の定着から応用へと発展的な学習につなげられる。 ・自主的な学習支援のための工夫がなされており、教科書を活用していくことで家庭でも復習ができる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・Programで基礎を学び、Power-Upで4技能をバランスよく活用してコミュニケーション能力を高め、My Projectで学期に学んだことを統合的・発展的に学習し、自己表現力を身に付けるという構成である。 ・生徒の活発な学習を促すよう、協働学習や自己評価の機会を設けている。「できるようになったこと」リストでは、生徒自身が達成度を確認できる。付録にCAN-DOリストがある。 ・題材にはノーベル平和賞受賞者マララさんの主張、トルコのエルトゥールル号にまつわる話など、人権・教育・平和などの話題を取り入れている。また、オリンピックなど時事の題材も多く取り入れられ、生徒の興味・関心をひく。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育出版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に目標が示され、実際の活用場面がわかりやすい。巻末の CAN-DO リストで、1年間で身に付いた力を自己評価できる。 ・基本文の定着と語彙の充実を図るための絵や図が効果的で、練習がしやすいよう工夫されている。文法について簡素な例文で要点を絞って解説している。技能別の activity sheet で指導法をパターン化することにより、指導者の負担軽減と円滑な授業が期待できる。 ・基礎的・基本的な内容から自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする活動まで充実している。 ・別冊 Essentials で、マスキングシートを使って基本文や語彙の定着を図れる。 ・題材には海外の話題や時事的なものが多く、世界について関心をもてる内容である。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">光村図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めに目標が示され、まとめの You Can Do It! では、実際の使用場面を想定した言語活動を通して目標を達成できる。 ・英文の概要をつかむための導入問題があり、理解しやすい。英文量が多く、語彙・表現を増やすことができる構成である。 ・身近な話題から世界に広がる話題まで、対話文だけでなく、メール、インターネットなど実際の場面を設定しているほか、震災や防災に関する題材も扱っており、幅広い。 ・「CLIL 英語で学び、考えよう」では、家庭、社会、保健体育など、他教科の内容を英語で学習することで、“英語で学ぶ”体験ができる。学習したことを活用して自己表現につなげる内容が多く、発展的な学習が可能である。